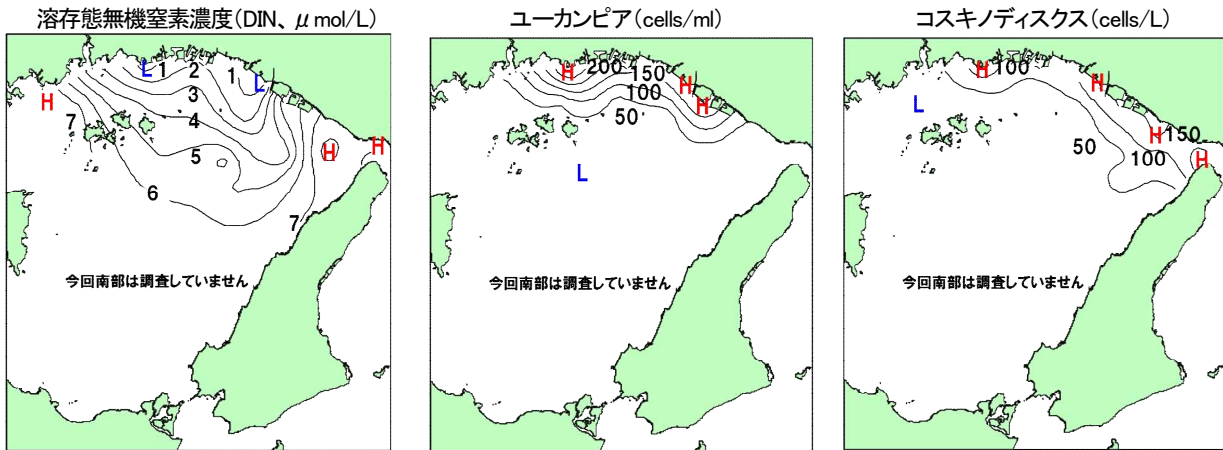


※1: 数値はすべて表層の値です。2: 調査地点は、沿岸東部 11 点は▲、沿岸西部 12 点は●で表示しています。

平成29年11月14日の水平分布状況(表層、実測値)



\* Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています

**播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み**

西部を除くほぼ全域で、大小さまざまな珪藻類の増殖が活発化しています。特に北部沿岸域(高砂～姫路地先)では、ユーカンピアゾディアクスが例年よりも早い時期から出現しており、細胞密度も高くなっています。コスキノディスクスワイレシーは、前回の調査時よりもやや増加していますが、数は多くありません。

珪藻類が多く発生している影響により、北部沿岸ではDIN濃度が1μmol/Lを下回っている海域もあります。沖合域や東部海域のDIN濃度は、概ね5μmol/L以上ありますが、今後の珪藻類、栄養塩の動向にはご注意ください。

大阪管区気象台の週間天気予報では、降水量は平年並か平年より多いとされています。海域全体の短期的な栄養塩濃度の推移は、珪藻類の発生状況にもよりますが、現状維持またはやや低下傾向と考えられます。

**週間天気予報** 気象庁 11月14日 16時33分 発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間(11/15～11/21)の近畿地方は、北部では気圧の谷や寒気の影響で雲が広がりやすく、雨または雪の日が多いでしょう。中部と南部では天気は数日の周期で変わり、高気圧に覆われて晴れる日もありますが、低気圧や前線の影響で、曇りや雨の降る日もある見込みです。

最高気温、最低気温はともに、平年並か平年より低く、かなり低い日があるでしょう。降水量は、平年並か平年より多い見込みです。

**その他の情報**

- ・岡山県の調査(11/9)では、日生沿岸でDIN(表層)が9.3～9.8μMでした。大型珪藻のコスキノディスクスは確認されませんでした。
- ・香川県の調査については、以下のURLから参照してください。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

※栄養塩の単位: μmol/L = μg-at/L = μM

**【今後の予定】**

- ・平成30年4月上旬まで毎月3回程度(上・中・下旬)の発行を予定しています。
- ・次回は平成29年11月22日頃に発行予定です。

\*この情報は、ホームページでも見ていただけます。以下のURLにパソコン等からアクセスして下さい。  
<http://www.hyogo-suigi.jp/>